平成30年　北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝(6:00から9:59時まで)、昼(10:00から13:59まで)
夕方(14:00から17:59まで)、夜(18:00から21:59まで)、
深夜(22:00から1:59まで)、早朝(2:00時から5:59まで)

件数	月	発生時間	時間区分※	建物種類	感知したタイプ	出火場所	設置場所（鳴動場所）	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
1	1	9:18	朝	戸建住宅	煙式	居間	階段	ストーブ	居住者	灯油ストーブの輻射熱により可燃物が着火	発見者は、居間にいたところ、住宅用火災警報器の警報音が鳴り、室内を見渡したところ、灯油ストーブ付近にあったぬいぐるみから白煙が上がっていた。ぬいぐるみを台所のシンクへ運び、119番通報を依頼するため、屋外へ出て通報者に依頼後、室内へ戻り自然鎮火を確認したもの。
2	1	16:50頃	夕方	戸建住宅	煙式	居間	その他（居間・不明を含む）	ストーブ	居住者	ストーブの燃焼熱により天板の可燃物が燃焼部に溶融落下し着火	居住者が和室のポータブルストーブ天板にホットプレートを乗せたままストーブを点火し、隣接の居間にいたところ、「火事です」と音声が聞こえたため襖をあけると、ストーブより炎が上がっていた。 ストーブ等をタオルケットで包むと火勢がおさまったため、更に毛布で包み屋外へ出し、雪にて消火する。 当日通報せず、後日り災証明書の問い合わせをしたことから、消防覚知となった。
3	1	9:23	朝	戸建住宅	煙式	居間	階段	ストーブ	居住者	灯油ストーブの輻射熱により可燃物が着火	ストーブの前に置いた椅子の上で乾かしていた衣類が、ストーブの輻射熱により発火し、椅子に燃え広がり火災化したもの。
4	1	6:56	朝	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	魚焼きグリルで魚を焼いたまま忘れたもの（非火）	居住者がガスこんろの魚焼きグリルを点火したことを忘れ、焼いているものが炭化して台所に設置している住宅用火災警報器が発報し、通報。消防隊現着時、屋内は白煙が充満した状態でグリル内は炭化のみで焼損はなかった。
5	2	11:15	昼	戸建住宅	煙式	就寝室	就寝室	たばこ	居住者	たばこの火種が布団に落下	居住者が居間でテレビを見ていたところ、寝室に設置してある住宅用火災警報器が鳴動していることに気づき、寝室のドアを開けたところ煙が充満していたため１１９番通報した。
6	2	5:20	早朝	その他	煙式	その他（調査中を含む。）	その他（居間・不明を含む）	ストーブ	居住者	ストーブの異常燃焼	１階の居住者が、起床し１階の談話室に設置されているストーブのスイッチを入れたところエラー表示となり、屋内排気筒付近から白煙が揚がりそこに設置されている住宅用火災警報器（連動型）が発報したため、居住者全員に呼びかけ、屋外へ避難させた。
7	2	20:48	夜	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	魚焼きグリルで魚を焼き、煙が発生	居住者が魚焼きグリルで魚を焼いていたところ、そのまま寝てしまい、煙が発生。住宅用火災警報器が発報し、警備会社に火災信号が入電、警備会社から119番通報したもの。火災現象なし。
8	3	0:10	深夜	アパート・マンション等	煙式	台所	就寝室	こんろ	隣人	鍋に火をかけたＩＨこんろを放置したもの	居住者が煮魚を調理するため鍋に火を掛けた状態で寝てしまった。その後、警報音に気づいた隣人が呼び鈴を押すも、居住者が出てこないため、大家を呼び家に入ると室内に煙が充満していた。隣人と大家が協力し火を止め、１１９番通報を実施、居住者を起こし窓を開けて換気したもの。
9	3	11:00	朝	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（居間・不明を含む）	こんろ	居住者	魚を焼き、その場を離れたもの	台所の都市ガステーブルグリルで魚を焼いている最中に、その場を離れ寝てしまったため、魚が焦げ室内に煙が充満したことで、居間に設置する住宅用火災警報器が作動し、鳴動音で気付いた居住者がグリルのスイッチを遮断したことから、火災には至らなかったもの。
10	4	7時20分頃	朝	専用住宅	煙式	就寝室	就寝室	火遊び	居住者	子どもの火遊びを中心に調査中。居室の壁面及び収容物を焼損した。	母親が１階のキッチンにいたところ、２階の住宅用火災警報器が鳴動し、２階に居た子どもから「火が出ている」という声を聞いたことから、確認に向かったところ居室内の火災現象を確認した。母親は子どもたちと協力し、鍋とバケツに水を溜めて初期消火を行い大事に至らなかったもの。その後、関係者から消防へ通報した。
11	**4**	**12:35**	**昼**	**戸建住宅**	**煙**	就寝室	就寝室	たばこ	居住者	**たばこの吸殻を完全消火せずに、ごみ箱に捨てたもの。**	**2階寝室で喫煙後、完全消火せずに、たばこの吸殻を、ごみ箱に捨てたため、ごみ箱内の可燃ごみに、残っていたたばこの火種が着火し出火したもので、住宅用火災警報器の鳴動音で気付いた居住者が初期消火したため火災が拡大しなかったもの。**
12	4	2:14	早朝	アパート・マンション等	煙式	台所	台所	こんろ	その他	フライパンで調理中の食材が焦げ、煙が発生したもの（非火災）	居住者が遠隔地にいる者と電話をしながら、フライパンで調理をしていたところ寝てしまい、台所に設置していた住宅用火災警報器が鳴動、電話越しに鳴動を確認したため、遠隔地の者が通報したもの。火災現象なし。
13	5	9:40	朝	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（居間・不明を含む）	こんろ	緊急通報システム	ガスコンロ（魚焼きグリル）の空焼き	緊急通報システムの煙感知器が発報し、北海道健康づくり財団より消防署への通報にて覚知したもの。 消防隊到着時、居住者は不在であり煙感知器が鳴動している状態で、ガスコンロ(魚焼きグリル)が点火されていた。 消防隊によりガスコンロの火を消したため火災には至らなかったもの。
14	5	11:50	昼	戸建住宅	煙式	台所	就寝室	こんろ	居住者	ガスコンロで加熱中の鍋の水分が蒸発して鍋が空焚き状態となって煙が発生（非火災）	居住者が鍋をガスコンロにかけたまま居間でテレビを見ていたところ、徐々に煙が居室内に充満していき、１階寝室の住宅用火災警報器が作動した。 その後、台所から「ドンッ」という音が聞こえたことから、急いでガスコンロを止めて消防署へ通報したことで、火災に至らなかったもの。
15	5	21:35	夜	アパート・マンション等	煙式	その他（調査中を含む。）	その他（居間・不明を含む）	電気	居住者	テーブルタップ付近からの出火	不在であった子ども部屋の電気タップ付近から煙が上がり、天井に設置されていた住宅用火災警報器が発報したもの。通報者は就寝中であったが、住宅用火災警報器の音声に気づき確認しに行くと、電源タップ付近が燃えていたため、側にあったバスタオルを当て消火し、その後、消防へ通報したもの。
16	5	8:05	朝	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	緊急通報システム	鍋の空焚き	居住者が味噌汁をガスコンロで温めベッドで横になっていたところ、空焚き状態となり緊急通報システムの煙センサーが発報、消防からの呼びかけで本人が気づきコンロの火を消したもの。
17	5	5:16	早朝	アパート・マンション等	煙式	就寝室	就寝室	その他（調査中を含む。）	入居者	電気関係からの出火について調査中	１階の寝室で就寝中、住宅火災警報器の警報音で目が覚め確認したところ、隣の寝室にある段ボール付近から壁に向かって約１ｍの炎が出ているのを確認し、居住者でバケツや洗面器で水を掛けたほか、近隣居住者が消火器３本使用し初期消火したもの。
18	5	6:35	朝	戸建住宅	煙式	台所	台所	その他（調査中を含む。）	入居者	電子レンジで調理品を加熱し過ぎたもの	１階台所の電子レンジで冷凍食品を加熱していたところ、設定時間を誤ったため冷凍食品から煙が発生し、発報したもの。
19	6	7:40	朝	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（居間・不明を含む）	こんろ	居住者	調理中のうたた寝が原因で、ガステーブルで調理していた鍋の水分が全て蒸発し空焚き状態となり、熱を帯びガステーブル周辺の油脂に着火したもの。	居住者が7時00頃、台所のガステーブルに水を張った鍋をかけたままうたた寝してしまい、7時40分頃、居間に設置してある住宅用火災警報器(煙式)が鳴動したことにより目が覚め火災に気づいた。すぐにガステーブルのスイッチを切り、ガステーブル周辺の油脂に着火していた火を炊飯器の釜に水を汲み消火にあたる。その後、窓を開放し煙を排出する。 通報者は付近住民で換気口から白煙が出ているのを確認し119番通報に至る。
20	6	2:15	早朝	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（不明を含む。）	こんろ	入居者	鍋の内容物の過熱発火	共同住宅一室の台所で、ろうを融かすために鍋にろうを入れて液化石油ガステーブルで火にかけていたが、溶けるまで待っているうちにそのことを忘れて寝てしまった。住宅用火災警報器の警報音で目が覚め確認したところ、台所と居間に煙が充満しており、液化石油ガステーブルから炎が上がっているのを確認したため、寝室から持ってきたシーツで叩き消したもの。その後管理人に報告し１１９番通報を勧められたため通報した。
21	6	19:38	夜	戸建住宅	熱式	台所	台所	こんろ	入居者	天ぷら油の過熱発火	居住者が1階台所でフライパン内の天ぷら油を液化石油ガステーブルで加熱していたことを忘れ、居間でテレビを見ていたところ住宅用火災警報器の警報音が鳴り台所を確認すると、フライパン内の天ぷら油に火が入り約１ｍの炎が立ち上がっておりエアゾール式簡易消火器１本で初期消火したものである。
22	6	21:13	夜	アパート・マンション等	煙式	就寝室	就寝室	たばこ	入居者	寝たばこにより落下した火種が可燃物に着火	発見及び通報者は食事をした後、ウイスキーの水割りをグラスで２杯飲み、布団で煙草に火をつけたまま寝てしまった。その後、住宅用火災警報器のベル音で目を覚ましたところ、３ｃｍほど炎が敷布団から立ち上がっているのを発見し、浴室のシャワーを使用し火を消し止めたが煙が収まらなかったため、携帯電話で１１９番通報したものである。
23	6	18:03	夜	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の空焚き	ガスこんろで油の入ったフライパンに火をかけたまま忘れてしまい出火したもの。夫婦が居間のソファーに座っていたところ、台所に設置していた住宅用火災警報器の警報音に気付き、ガスこんろの火を止め、座布団等を被せた後に水をかけたが、完全に消火しているのか不安となり119番通報を行い屋外へ避難した。
24	7	19:50	夜	戸建住宅	熱式	台所	台所	こんろ	緊急通報システム	鍋の空焚き（非火災）	単身高齢者宅の緊急システム火災センサーが発報。呼び返しに応答がないため、消防隊が出動する。家人は、IHクッキングヒーターに鍋をかけたまま、入浴したため、鍋が空焚き状態となり発煙し、台所の住宅用火災警報器(熱式)が警報を発したもの。(IHクッキングヒーターは過熱防止機能により作動停止)鍋の中が焦げたのみでIHクッキングヒーター周辺、住宅内には焼損はなく、火災には至らなかったもの。
25	7	18:50	夜	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	緊急通報システム	鍋の空焚き	緊急通報装置の火災警報器が発報、自動連動で警備会社へ通報され、その後、加入電話にて警備会社より連絡があり消防覚知に至る。居住者は夕飯を作る為、鍋をIHクッキングヒーターで加熱しその場を離れる。居住者は鍋を加熱していることを忘れてしまい、鍋から煙が出ていても耳が遠く火災警報器が「ピーピー」鳴っていることには気付いたらしいが警備会社の呼び返し音には気付かなかったとのこと。偶然、親戚が居住者宅を訪れ台所周辺から煙が出ているところを発見する。空焚き鍋以外に焼損は無く、台所周辺の延焼もなし。居室内に煙が充満していた為、親戚により窓等開放し換気する。その後、消防隊が現場到着する。
26	7	17:06	夕方	アパート・マンション等	煙式	台所	就寝室	こんろ	隣人	ガスコンロの火の消し忘れ	居住者が2口ガスコンロを使用し、圧力鍋に食材を入れ温めていたが、その後失念し外出したため内容物が炭化し、白煙が発生したことで寝室設置の住宅用火災警報器が発報したもの。同共同住宅居住者が警報音及び当該居室の窓から白煙が揚がっていることに気付き、119番通報を行った事例である。尚、ガスコンロの炎については各戸に設置のガスメーターが長時間のガス使用を感知したことで遮断装置が作動し、ガス供給が停止されたことで消火されていた。
27	7	19:00	夜	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の空焚き	居住者が台所で調理のため鍋に火をかけ、そのまま食事を始めた。その後、鍋から発生した煙で台所に設置した住警器（煙式）が発報。居住者が警報音に気付き、屋外に避難し自ら１１９通報する。通報後、駆け付けた消防隊が住宅内には焼損はなく、火災の危険性がないことを確認する。
28	7	16:52	夕方	戸建住宅	煙式	台所	その他（居間・不明を含む）	こんろ	緊急通報システム	鍋の空焚き	コンロに鍋をかけたまま外出し水分が蒸発。水分以外に残った成分が炭化し煙が発生したため居間に設置の煙感知機が作動し、安全センターへ自動通報されたもの。協力員が駆けつけた直後に本人も帰宅し、鍋の火を止め火災に至らず。
29	8	9:12	朝	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	入居者以外	こんろの消し忘れ	1階北西側の台所のIHこんろで、レトルトカレーを鍋に入れたお湯で温めていたところ、入居者がこんろを消し忘れて出掛けたため、鍋から発生した煙で台所に設置の住宅用火災警報器が火災を感知したことにより、セコムに異常信号が送信され、セコムから119番通報されたものである。
30	8	7:55頃	朝	戸建住宅	煙式	台所	その他（不明を含む。）	こんろ	緊急通報システム	ガスコンロに鍋を掛けたままその場を離れた	家人(85歳女性)が、鍋に味噌汁を入れ火をかけたままその場を離れ仏壇でお参りをしていたところ、鍋が過熱され内容物が蒸発し焦げて煙が発生。煙が部屋に充満し居間に設置していた緊急通報システムの煙感知器が作動し、管理会社を通じて消防覚知。家人が警報音に気付き台所に戻ったところ鍋から煙が出ていたので、鍋をシンク内に移動し水をかけたことで火災に至らなかったものである。
31	9	18:24	夜	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	緊急通報システム	鍋の空焚き（非火災）	居住者がＩＨヒーターで味噌汁を温めているのを失念し、空焚き状態となり発煙。警備会社通報機能付きの煙感知器が作動し、警備会社が確認の電話をしたが、居住者からの応答がなかったため、警備会社から１１９番通報となったもの。
32	9	23:00頃	深夜	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（居間・不明を含む）	こんろ	居住者	ガステーブル上に乾麺の欠片が落ちたことに気付かず、乾麺が焼けたもの。	視覚障害のある居住者が、ガステーブル上に落ちた乾麺の欠片に気付かないままガスコンロを使用し調理していたところ、焦げ臭いにおいと住宅用火災警報器の鳴動に気付き、ガステーブルの火を止めたことにより火災に至らなかったもの。なお、通常は電気コンロを使用していたが、地震による停電のためガスを使用していた。
33	9	4:34	早朝	戸建住宅	煙式	就寝室	就寝室	その他（不明を含む。）	居住者	白熱灯スタンドに可燃物が接触	居住者が、床に置いた白熱電灯スタンドのスイッチを入れたまま就寝した後、すぐ近くで山積みになっていた衣類が崩れ白熱電球に接触し、発生した煙で緊急通報システム連動の住宅用火災警報器（煙式）が作動した。本人がその警戒音に気づき、燃えていた衣類を水道水で消火した。
34	9	12時00分頃	昼	戸建住宅	煙式	就寝室	就寝室	その他（不明を含む。）	居住者	調査中	住宅1階居間で昼食中、連動型住宅用火災警報器が鳴動し、2階子供部屋で火煙を確認した。火煙はベッドの枕もとから高さ約1m程上がっており、住宅内に保管していた備蓄水をかけた後、布団を折りたたんで窒息消火したもの。 布団の枕もとには携帯電話充電用モバイルバッテリーが置かれていた。 火災発生時、2階子供部屋には人がおらず、連動型住宅用火災警報器が鳴動したことにより早期発見し、被害の拡大を防いだ事例である。
35	9	19:17	夜	戸建住宅	煙式	台所	その他（不明を含む。）	こんろ	緊急通報システム	ガスコンロに鍋を掛けたままその場を離れた	居住者、鍋に味噌汁を入れ火をつけたままその場を離れ居間でテレビを観ていたところ、鍋が過熱され内容物が蒸発し焦げて煙が発生。煙が住宅内に充満し居間に設置していた緊急通報システムの煙感知器が作動、管理会社を通じて消防覚知。家人が警報音に気付き台所に戻ったところ鍋から煙が出ていたので、鍋をシンク内に移動し水をかけたことで火災に至らなかったものである。
36	9	22:40	深夜	共同住宅	煙	寝室	寝室、居間	ろうそくの火	居住者の息子	仏壇内のろうそくの火の消し忘れ	居住者の息子は、実家に帰省中寝室にある仏壇の火を付けたろうそくから線香に火を付け、居間に移動してを飲酒し、寝室に戻り就寝する。目が覚めると住宅用火災警報機が鳴動しており仏壇から炎が出ていたことから、水道水を入れた洗面器で消火したのもである。
37	10	17:27	夕方	アパート・マンション等	煙式	就寝室	就寝室	その他	居住者	線香の燃え残りによるゴミ箱内紙くずへの着火	居住者が居間でテレビを視聴中、住宅用火災警報器が鳴動したため、確認すると仏間から煙があがっていることに気づいた。線香の燃え残りがゴミ箱の紙くずに着火し、ゴミ箱ごと台所へ持って行き、水をかけた。ゴミ箱内の紙くずから煙が発生しただけで焼損はなかった。
38	10	12:22頃	昼	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	緊急通報システム	ガスコンロに鍋を掛けたままその場を離れた	家人(81歳女性)が、鍋に野菜スープを入れ火をかけたままその場を離れ居間でテレビを観ていたところ、鍋が過熱され内容物が蒸発し焦げて煙が発生。煙が部屋に充満し台所に設置していた緊急通報システムの煙感知器が作動し、管理会社を通じて消防覚知。家人が警報音に気付き台所に戻ったところ鍋から煙が出ていたので、火を消して排煙を行い火災に至らなかったものである。
39	11	7:55	朝	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	ガスこんろ(魚焼きグリル)の空焼き	居住者がガスこんろの魚焼きグリルを点火したことに気づかず台所を離れたため、グリル受け皿に溜まっていた油脂が過熱され、発火に伴い発生した煙により住宅用火災警報器が作動。警告音声により魚焼きグリル庫内の炎を発見してエアゾール式簡易消火具で初期消火成功し、火災に至らなかったもの。
40	11	不明	早朝	アパート・マンション等	**煙式**	居間	台所	こんろ	隣人	鍋を火にかけたまま眠ってしまい、空焚き状態になったもの	飲酒後、鍋をカセットコンロの火にかけたまま眠ってしまい、加熱し続けたため空焚き状態になり室内に煙が充満したもの。午前３時５０分頃、隣人が飲料水を購入するため部屋を出たところ、住宅用火災警報器が鳴動していることに気付き通報した。　鍋の内容物が焦げたものの、他の焼損はなし
41	12	12:07	昼	戸建住宅	煙式	物置	階段	火遊び	居住者	子供の火遊びにより、納戸に置いてあった物品に着火したもの。	階段室天井に設置している住宅用火災報知器が鳴ったため、2階に行くと煙が充満し、納戸を開けると炎が見えた。発見者にて消火器を使用し消火した。通報は家族が行った。